ヨシナカ新聞

３ 月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:072-977-8861
FAX:072-976-0634

春の訪れ

先月号で実家の梅の木の蕾の写真を掲載させて頂きましたが、同じ梅の木で一ヶ月後（三月一日）に撮影した写真です。蕾が膨らみ花が咲き始めています。

東風吹かば　匂いおこせよ　梅の花　主なしとて　春な忘れそ

菅原道真が京の都から太宰府へ流されるときに詠んだ句。「東風が吹いたなら、ちゃんと花を咲かせて、よき香りをさせるのですよ、梅の花よ、わたしがいなくなってしまっても、どうぞ春を忘れないで」。素敵な詩ですよね。

HD-DVDとブルーレイ

東芝が『HD-DVD』から撤退し、これからはブルーレイ(DVD)が主流になるという話を先日のニュースで知りました。

【えっ、今使っているハードディスクドライブとDVDディスクドライブが一体となった機械がこれからは使えないのか】と思った私は、インターネットで調べたり量販店に行って店員さんに聞いて来ました。

その結果私は大きな勘違いをしていたようです。録画機器を使用するにあたり避けて通れないこのお話、出来るだけ簡単にまとめてみました。

ビデオ機器はアナログ（VHS）からデジタルに移行し、HDD(Hard Disk Drive）及びDVD（Digital Versatile Disc）ドライブを搭載した録画機が主流になっていました。これに対してHD-DVDやブルーレイはこれまでのDVDと同じ直径12cmの大きさでのディスクで長時間録画出来る『次世代DVD』と言われる規格になります。

『HD-DVD』のHDはHard Diskの略ではなく、High Definition（高解像度）という意味で、従来のDVDが片面4.7GB(GBはｷﾞｶﾞﾊﾞｲﾄ）で標準モードで２時間の録画が可能なのに対して、HD-DVDは最大（片面２層の場合）40GBで標準で約17時間の録画が可能です。

これに対して松下、ソニー、シャープ など９社が協同開発したブルーレイ（Blu-ray Disc）は 最大（片面２層の場合）50GBで標準で約21時間の録画が可能で、さらにその2倍の100GBも現在開発中との事です。

それでは、これまで録画して来たDVD-R, DVD-RW, DVD-RAM等のディスクや映画等の市販DVDを次世代機器で再生する事は出来るのでしょうか。

互換性についてはHD-DVDの方が高いようです。ブルーレイ機器でも再生することは可能だとのことですが、録画した機器と違うメーカーの機器では再生出来ない場合もあり、同じメーカーの機器を使用した方が良いとの事でした。

K社員のピアノ奮戦記

丸暗記奏法からの脱出（極めて困難 汗）

これまでのレッスンパターンは先の２小節の指番号（両手）を書いて貰って、自宅で練習して次のレッスンで演奏して先生のアドバイスを貰う。このレッスンパターンをＩ先生は許して下さるだろうか。あ、いや、Ｉ先生にも考えがある筈だ。これからは先生の指示に従った方が良いのかも。

結局、Ｉ先生のはからいで『TSUNAMI』のこれまで習って来たところは、両手で良しとするが、以降は片手ずつ練習していくことになりました。

楽譜を観ながら右手パートの４小節を練習します。右手で弾けるようになったら次は左手のパートを練習します。

４小節だけですが、片手ずつ楽譜を見ながら弾けるようになりました。ということは後は両手で合わせるだけです。両手で弾いてみましょうとの先生の声で、両手で滑らかに４小節を弾きます。

の筈でした。でも全く弾けません。右手を動かすと左手が動かない。左手を動かすと右手が全く動かない。私の両手、いや、脳はいったいどうなってるの。心底情けなくなりました。

ステンレス豆知識

腐食の形態とその対策

以前にもステンレスの腐食については、何度か掲載させて頂きましたが、インターネット上で腐食の種類や防止対策例についての表がありましたので紹介させて頂きます。（参考：キッチン・バス工業会会報）

腐食の分類および形態				防止対策例
腐食	湿度	全面腐食	（主に酸液中での不働態皮膜の溶解から素地の全面溶解へと進行）	Cr、Ni、Mo 等の添加
		局部腐食	粒界腐食（鋼中の C が粒界近傍の Cr と結合析出し、粒界の Cr 欠乏部が腐食）	低 C 化、Nb、Ti 添加
			孔食（ハロゲンイオン等の影響で不働態皮膜が破壊され、局部電池作用で腐食が進展）	Cr、Mo、N 等の添加
			応力腐食割れ（主にオーステナイト系に発生する引張応力面での腐食進展による割れ）	非オーステナイト化、残留応力除去 Cr、Mo、Cu、Si 添加
			隙間腐食（ボルト・ナットの隙間、異物の下等の狭隘部での塩素イオン濃化、局部電池作用により腐食進展）	Cr、Mo、N 等の添加
			異種金属接触腐食（イオン化傾向差等による電池形成による腐食）	絶縁化、電位差小金属選択
			腐食疲労（腐食環境下での繰り返し応力による腐食の進展）	設計応力低減、電気防食
			エロージョン・コロージョン（固体粒子衝突、液体での衝撃圧による表面損傷と電気化学的腐食の同時発生による腐食）	
	乾食	高温酸化（高温空気下での酸化）		Cr、Al、Si 等の添加
		高温ガス腐食（高温ガスとの結合等、硫化、窒化、侵炭 etc.）		Cr、Al、Si 等の添加